

「交流と連携で磨く日本風景街道・関東」

皆様、あけましておめでとうございます。日本風景街道の本格実施と推進に向けて「風景街道関東地方協議会」を設置してから早くも5ヶ月近くが経過しました。協議会の会長に選任された私にとって、日本風景街道のプロジェクトに触れ、共感し、あるときは悩み、あるときは熟考したこの期間はあっという間に過ぎました。8月以来交流会、登録の受付、審査のための協議会を経て、10月30日のクランクインフォーラムにおいて関東ブロック15ルートの認証式を挙行したわけですが、まさにこのとき日本風景街道関東ブロックの新たな第一歩を踏み出すことができたのであります。

関東では、道路元標を有している日本橋、迎賓地区といった都心のルートから山岳部のトレイルまで、実に多彩な風景街道が登録されました。もともと関東には景観・自然・歴史・文化等の地域資源が豊富にあります。何といたっても大きな特徴は「首都圏」であることです。わが国の人口の四分の一が集中する地域にあって、様々な価値観を持った老若男女が自分に合った刺激を求めています。ですから、道を舞台にしてこれらの資源や特徴を活かした活動を行い、訪れる人と迎える人の交流の輪を拓けることによって、やがては地域の活性化や観光振興・産業振興に貢献していくことが大いに期待できるのです。

さて、私は、この活動を一層発展させる鍵は「交流・連携を推進しながら相互の魅力を高めていくこと」にあると思っております。他の地域に影響されることなく独自に地域の魅力を引き出してほしいものですが、これは交流を通じて得られる知識を自らの地域に翻訳して活用することを排除するものではありません。交流してはじめて得られる情報、連携してはじめて実現可能となる活動が沢山あります。このため、風景街道関東地方協議会ではフォーラムや交流会の開催、ホームページや交流会誌を通じた情報発信などに力を注ぐとともに、風景街道のさまざまな活動支援について関東ブロック15ルートのパートナーシップの皆さんと共に考えていきたいと思っております。

江戸を中心とする五街道や脇街道が発展して現在の道路ネットワークが形成されました。関東は全国に通じる原点でもあります。目指すは「道を舞台にした国民的運動の展開」。皆さん、力を結集して、一緒に頑張りましょう。



2008・Winter No.3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kanto-fukei/>



風景街道関東地方協議会長
(社)埼玉県商工会議所連合会 専務理事 田端 直人

